いまようの風

令和２年（2020 年）１月 16 日発行
学校通信　第６４号
北海道今金高等養護学校
〒049-4304
瀬棚郡今金町字今金 454-1
TEL 0137-82-3121　FAX 0137-82-3092

新しい年に「トライ！」

教頭　野　本　雅　明

新年あけましておめでとうございます。

年号も「令和」に変わり、２年目の年を迎えました。２０２０年の今年はオリンピックイヤーということもあり、自国開催も相まって、オリンピックの話題で独占するのではないかと感じております。また、マラソン、競歩が札幌で開催されるなど、北海道も注目されるのではないでしょうか。昨年は、ラグビーワールドカップで盛り上がりましたが、日本代表のキャプテンを、札幌山の手高校出身のリーチ・マイケル選手が務めるなど、道内でもラグビー人気が高まりました。“にわか（ラグビーファン）”なる流行語も生まれたのも昨年でした。実は私も学生時代はラグビー部に所属しておりましたので、こうした流れを大変うれしく感じておりました。少しラグビーの話に触れますが、ラグビーは簡単に言うと「陣地取りゲーム」です。陣地を稼いでいって、最終的に相手チームの陣地を獲得した方に得点が入る競技です。ただ、ことはそんなに簡単ではなく、様々なルール（規則）があります。まず、なんといっても特徴的なことは、パスを前に投げてはいけないということ。前述したとおり陣地取りゲームですから、パスをすれば後ろに投げることになりますので、陣地を減らすマイナスな行為となります。ではどうすればいいか。簡単です、ボールを持った選手は、今自分のいるところより前に進み、後ろの仲間にパスを出すこと。これをラグビーでは「ゲイン（Gain：得る）」と言います。ですが、ラグビーは１チーム１５人で戦いますので、１５人を相手に、１人の力だけではそんなにゲインすることはできません。だからこそ仲間の力が必要になるのです。ラグビーを表す言葉に“One for all　All for one”（一人は皆のために、皆は一人のために）という言葉があります。まさにラグビーを体現した言葉で、個はチームの勝利を考え、必要な力をつけ、現状を打破していく。ただ、個の力だけでは限界があるので、チームとして個をフォローし、勝利を勝ち得る。なんと素晴らしいスポーツなのでしょう！・・・と、ラグビーばかりを褒めたたえてしまいましたが、実はどのスポーツにも言えることであり、スポーツ以外のことにも当てはまるものではないかと考えます。学校に置き換えてみれば、まずは生徒一人一人が力をつけ、目標の実現に向け前に進むこと。ただ、一人では越えられない壁に直面した時は、学校、家庭、地域等が一体となって支援することで、壁を乗り越え、目標の実現につなげる。これが勝利の方程式ではないかと考えます。

昨年の流行語大賞はリーチ選手の言葉“One team”（ワンチーム）でした。チームとして同じ目標を共有し、困難に立ち向かうことを表しています。今金高等養護学校も「令和」という新しい時代を迎え、『チーム今金』として一つにまとまり、様々なことに**トライ**（挑戦）していくことが大切になるのではと感じております。ラグビーの話に終始してしまいました。どうぞ本年もよろしくお願いいたします。

自衛隊出前授業

11 月 25 日（月）に函館の自衛隊による「南極の氷」の体験授業を行いました。まずはじめに砕氷艦「しらせ」の南極での活動について DVD を視聴しました。その後、「しらせ」が持ち帰った数万年前の南極の氷を見たり、溶ける際に泡が弾ける音を聴いたり、触ったりしました。講義を聴きながら、生徒達は氷に触れることで古代のロマンをかきたけられたようでした。

薬物乱用防止教室

11 月 28 日（木）に薬物乱用防止教室を実施しました。講師は、函館方面せたな警察署の生活安全課の方に来ていただき、「健康や社会に及ぼす影響及び社会的対策について」と「薬物乱用をしないという意思決定や行動選択の能力を身に付ける」というテーマでお話してくださりました。

エスポラーダ出張授業

12 月４日（水）に現エスポラーダ北海道ＧＭ兼監督の小野寺隆彦さんに来ていただき、フットサルの指導をしていただきました。１年生の授業では、フットサルを通して挑戦することの大切さや体を動かすことの楽しさを伝えていただきました。部活動では、足の裏を使ってボールを動かす技術を丁寧に指導していただきました。活動しやすい練習メニューや生徒に合わせて声掛けをしていただき、生徒もとても充実した活動となりました。

玄関コンサート

12 月 18 日(火)、音楽部による玄関コンサートが行われました。「実は全員揃って練習したことがない…(澤田副部長の挨拶より)」という、厳しいコンディションでしたが、「ポジティブにいこう！」という音楽部の目標を旗印にメンバーが団結し、聴衆の生徒の手拍子にも支えられて「きよしこの夜」と「クリスマス・イブ」の２曲を演奏、３年生２人によるサンタ・ダンスで会場の空気が一気にほっこりしました。「皆さんに幸せがありますように」、素敵な音色が玄関ホールに響いていました。

赤十字義援金報告

11 月に行われました 23 年目を迎えた学校祭も無事終了することができました。当日、寒い中ご来校くださりありがとうございました。また、生産品販売におかれましても、たくさんのお客様に足を運んでいただき感謝いたしております。

仕入れ販売コーナーでは、窯業科は今年も全国各地で台風により河川が氾濫し家屋などの災害に遭われた、全国各地からお菓子を仕入れました。また、農業科・家庭総合科も今金町の特産品等を仕入れ、売上げの一部を義援金とさせていただきました。

会計の際に義援金のご協力を呼びかけたところ、たくさんのお客様からご厚意をいただくことができました。

先日、郵便局から赤十字を通じて九州と関東の被災地へ送金することができました。ご協力いただきました皆さんありがとうございました。送金額は４，５６２円でした。

道南カップフットサル大会

12 月 22 日に北海道北斗高等支援学校で行われた「第２回道南カップフットサル大会」に参加してきました。全員でトレーニングを行った後、午前は学年毎にチームを組み、午後は学校対抗での試合を行いました。優勝はできませんでしたが、初対面の仲間と試合を行うという貴重な機会となりました。

生徒会役員選挙

12月13日（金）に第23期生徒会役員選挙を行いました。２，３年生中心のメンバーから、１，２年生中心のメンバーへと世代交代となりました。立候補者の演説は、自分たちの学校を良くしたいという前向きな演説でした。１、２年生は事前に選挙の学習を行い、選挙についてや投票のことについて学習しました。投票にあたっては、今金町から実際の選挙で使っている投票箱や記載台をお借りし、これから選挙権を持つ生徒達の模擬選挙としても学ぶよい機会となりました。これからの執行部の活躍を期待しています。

松本沙耶佳（まつもとさやか）　特別支援学校専門支援員

11 月より支援員として勤務させていただいております、松本沙耶佳です。何事にも一生懸命な生徒の皆さんに、日々刺激を受けております。学校勤務は初めてなので、皆さんとともに学び、成長していきたいと思っています。これからどんな経験ができるかとても楽しみです。どうぞよろしくお願いいたします。

２月の行事予定

日時	予定
３日（月）	全国学校給食週間（～７日） ＩＭＡＹＯ週間（～７日）
４日（火）	檜山北高校食品加工体験（２年）
５日（水）	オープンウィーク（～７日） 檜山北高校食品加工体験（１年）
１２日（水）	３年窯業科校内販売会
１３日（木）	模擬株式会社総会
１４日（金）	後期生徒総会
１６日（日）	ぴりか歩くスキー大会 札幌クロスカントリー大会
１８日（火）	２学年作業強化日（～２０日）
２１日（金）	保護者懇談会・給食試食会（３年）
２２日（土）	冬季障スポ（枝幸町）
２５日（火）	玄関コンサート 模擬株役場報告会
２６日（水）	今金町教育・文化・スポーツ表彰 １８：００～町民センター
２７日（木）	卒業証書授与式特別日課（～3/9）
２８日（金）	卒業生を送る会（１～４ｈ）

子ども相談支援センター
相談窓口のお知らせ

・いじめられている…
・学校に行きたいのに行けない…
・誰かに聞いてほしい…

そんな時に、相談できる窓口があります。

●電話相談
0120−3882−56
（無料、毎日24時間対応）

●メール相談
doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp
※急ぎの場合は電話相談を利用してください。

次回の発行は２月中旬の予定です♪